

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和02年度 対象年月： 令和 3年 3月
 会計： 一般会計
 局： 県土整備局
 所属： 県土整備局県土整備経理課（直通 045-210-6078）
 公会計事業： 県土整備事業運営費

1 主な事業内容

・土木事務所等の庁舎整備を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	H30決算	R01決算	R02決算	H30-R01増減率	R01-R02増減率
経常費用	484,017	825,953	424,502	70.6%	△48.6%
人件費	14,744	55,784	21,333	278.3%	△61.8%
物件費等 ※	438,288	745,174	379,642	70.0%	△49.1%
物件費	79,081	69,569	12,358	△12.0%	△82.2%
維持補修費	21,670	342,572	1,848	1,480.9%	△99.5%
減価償却費	337,537	333,034	365,437	△1.3%	9.7%
移転費用 ※	-	-	2,989	-	皆増
補助金等	-	-	-	-	-
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	-	-	-	-	-
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-
純経常行政コスト(経常収益-経常費用) ①	△ 484,017	△ 825,953	△ 424,502	△70.6%	48.6%
臨時損失	45,799	209,035	-	356.4%	皆減
臨時利益	-	-	1,910	-	皆増
純行政コスト(①-臨時損失+臨時利益)	△ 529,816	△ 1,034,987	△ 422,592	△95.3%	59.2%
財源	3,297	96,521	-	2,827.5%	皆減
税収等	-	-	-	-	-
国等補助金	3,297	96,521	-	2,827.5%	皆減
本年度差額	△ 526,519	△ 938,466	△ 422,592	△78.2%	55.0%
一般財源充当調整額	375,621	1,866,378	291,373	396.9%	△84.4%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	R01決算	R02決算	増減率	科目	R01決算	R02決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	17,102,559	16,624,647	△2.8%	固定負債	6,232,701	6,496,731	4.2%
有形固定資産	17,102,559	16,624,647	△2.8%	県債	6,188,540	6,484,830	4.8%
事業用資産	17,102,559	16,624,647	△2.8%	長期未払金	-	-	-
土地	9,531,554	9,346,325	△1.9%	退職手当引当金	44,161	11,901	△73.1%
建物	13,713,701	12,741,946	△7.1%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 6,499,865	△ 5,793,939	△10.9%	その他固定負債	-	-	-
工作物	896,847	879,583	△1.9%	流動負債	560,431	100,555	△82.1%
工作物減価償却累計額	△ 572,985	△ 574,092	0.2%	県債	556,010	99,085	△82.2%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	33,305	24,824	△25.5%	賞与等引当金	4,421	1,470	△66.7%
インフラ資産	-	-	-	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-	負債合計	6,793,133	6,597,286	△2.9%
工作物	-	-	-	純資産合計	10,309,426	10,027,362	△2.7%
工作物減価償却累計額	-	-	-	負債及び純資産合計	17,102,559	16,624,647	△2.8%
その他	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
物品	-	-	-				
無形固定資産	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
流動資産	-	-	-				
資産合計	17,102,559	16,624,647	△2.8%				

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(R01-R02の比較)は、維持補修費が340.7百万円(99.5%)減少しています。要因としては、足柄上合同庁舎の設備工事等が完了したためです。

② 貸借対照表(資産の部)

R02決算の内訳は、土地が93.5億円で、資産の56.2%を占めています。そのほか、建物が69.5億円、工作物は3.1億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R02決算の内訳は、県債が65.8億円で、負債の99.8%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R02決算では、資産合計166.2億円から負債合計66.0億円を差し引いた100.3億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は60.3%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(R01-R02の比較)は、建設仮勘定が0.1億円(25.5%)減少しています。要因としては、藤沢土木事務所汐見台庁舎改修工事が完了したためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。